

つなぐ

ふるさと宇和島／南予

夏号

2023 No.23

ご自由にお取りください



特集

畦地梅太郎記念美術館 井関邦三郎記念館 開館20周年記念

三間の偉人と小さな記念館の軌跡

インタビュー 「プールを地域の拠点にしたい！」 メッサ スイミングクラブ宇和島 代表 兵頭 広一
Topics 古い街並みと昭和レトロ家電 兵頭電機商会

C o n t e n t s

- 02 エッセイ 「昭和 50 年代の丸之内を散歩してみましょう」 矢間 大蔵
- 03 撮り歩きなんよ 原生つつじ公園のフクリンササユリ 写真家 北濱 一男
- 04 インタビュー メッサ スイミングクラブ宇和島 代表 兵頭 広一
「プールを地域の拠点にしたい！」
- 07 特 集 「三間の偉人と小さな記念館の軌跡」 開館20周年
記念
- 08 美術館・記念館のこれまでと今後
- 10 畦地梅太郎 こつこつと版を刻んだ生涯
- 12 一代でトップメーカーを築いた井関邦三郎
- 14 畦地梅太郎記念美術館オリジナルグッズ
- 16 いのちのはなし
グーチョキパー 4 「あいこで パー」 文/毛利 弘子
- 17 Topics 「古い街並みと昭和レトロ家電 兵頭電機商会」
- 20 **文ちゃんとどつぽの 予土線のあの人に会いたい 4**
- 22 うわしん若手経営塾OB 若だんな 11 大成社 代表取締役 岡村 康弘
- 23 南予の祭り歳時記 - 西予市城川町 - 愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員 大本 敬久
魚成の実盛り
- 24 医 療 不眠症 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 25 食めぐり 新たな宇和島の特産品「きぬ青のり」について 管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター 和田 広美
- 26 お気楽 俳句 小野 更紗 絵/律川 エレキ おすすめ本/岩崎書店
- 27 つなぐ美術館 ベにばら画廊/アトリエぱれっと
- 28 斗酒百篇 / 4 コマ漫画「きさいやくん」



表紙 / 「海のプーケ」
作 / ありま三なこ

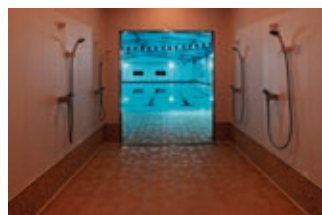
プロフィール

1987年生まれ 愛媛県宇和島市出身
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016 年第 8 回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす
現在は個展やイベントへの出品等で活躍中

〈お詫びと訂正〉前号の表紙作品名は正しくは「ぼかぼかな日」です。ここに訂正しお詫び申し上げます。



つゆ草 (撮影/北濱一男)



つなぐ夏号 No.23

〒798-0041 宇和島市本町追手 2-8-21

0895-23-7000

年 4 回発行 (季刊誌)

配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか

発 行 / 宇和島信用金庫

編集・構成 / 業務推進部 広報文化室 川尻純滋

本誌掲載内容の無断転載を禁じます

ありま三なこさんの壁画完成！

毎号本誌の表紙を飾って頂いている、ありま三なこさんの壁画が宇和島市広小路にある上田小児科医院（宇和島市広小路1-26）の壁面に完成しました。



僕は昭和49年、1974年の宇和島に生まれた。いまから半世紀前、長嶋茂雄が引退した年だ。生まれた日の新聞の一面は「スーパードライ、トイレットペーパー求め」だった。オイルショックの最中だった。生家は、丸之内の1丁目にあった。今のリージェントホテルの真裏、細い路地に面した小さな小さな家で、僕は育った。

写真は、その当時、家の前で撮った写真である。宇和島の御城下の、くすんでも、たおやかだったあの頃の風景がよく見える。よく見ると「アースの看板」が写っているでしょう。あれは、だいたいの裏側が由美かおるだったなあ。小さな僕と写っているのが若き父で、人気の鍼灸師だった。仕事が終わると、よく散歩に連れて行ってくれた。

まずは、写真正面に写っている「むらさめ」の交差点に向かう。この店は常にいなりずしの甘い匂いを漂わせていた。その向かいに他を圧してそびえ立っていた巨大な緑色の殿堂が「菊美ど里劇場」。劇場の脇をすり抜け、国道56号線に出ると、横断歩道を渡った先に「小さい和霊様」と呼ばれる小さな神社がある。この当時、この神社は、だんぜん「はとぼっぼ」と呼ばれていた。なぜかというところ、今でこそ駐車場のようになっているが当時の境内前はただの広場で、常に鳩がたぐさんいて、かつ社務所では「鳩の餌」が売られていた。「鳩に餌がやれる」ことをめがけて子供達が集まる、人気のス

昭和50年代の丸之内を散歩してみましょう

矢間 大蔵



ットだったのだ。僕もここで鳩に餌をやるのが楽しかった。

さらに国道沿いを丸之内5丁目方面へ向かって下ると、左手に見えるのが宇和島商工会議所の建物。ここは、建物の前に池があつて、鯉や金魚が泳いでいた。子供にとつて誠にコーンすべきスポットであつた。

さらにその隣にはバスセンター。僕はこのバスセンターで、大きなバスがひっきりなしに出入りするのを見るのが何よりも好きだった。当時はとても人が多く、バスの出入りも頻繁で、売店なんかもあつて、駅のように賑わっていたものだ。

バスを眺めていつまでも僕が帰ろうとしないので、父は大抵売店でアイスクリームなどを買ってくれ「食べながら帰ろう」というのだった。

ある時、前述の商工会の池の魚を見ていたら建物から男の人が出てきて「ボクよ、いいものを見せてあげたい」といった。招かれるまま入っていくと一番奥の部屋の窓はお城山の鬱蒼たる森へとつながっている。「見ときさい」と男の人がいうと、やがて木々の合間からワラワラと数匹のタヌキが現れた。どうも商工会の人たちがタヌキに餌付けをしていたようであつた。颯爽と、山の主のごとく現れて僕を睥睨するタヌキたちの姿が忘れられない。

お城山のタヌキというのは昔から名物だったらしい。鶴島小学校の名物校長だった黒田先生が話してくれた。ある時先

※流し目でじろりと見ること。転じて、(威圧するように)周囲をにらみまわすこと。

生がお使いで食べ物を買って今のバスセンターのあたりを歩いていると、ふいに小さな子供が現れて「それちようだい、ちようだい」と手を伸ばしてくる。「あげないよ」と食べ物を持ってくる。持ってきた途端「ダッ」と衝撃がはしって食べ物も跡形もなかった。タヌキにやられたんだと。

思い起こせば、お城山の公園には信楽焼のためぎがずらつと並んでいたなあ。あれは、なんだったのだろう。関係ないけど公園にはかつて大きな檻があつて猿が飼われていた。本当です。昔お城山にはタヌキもお猿もいたのです。

思い出せることをとりとめもなく書いた、ここに書いた風景のほとんどは今ももうない。人間50歳に近づくと、懐かし



矢間 大蔵 やざま だいぞう

1974年 宇和島生まれ
宇和島南高等学校卒業後、和歌山の大学へ進学し、卒業後は大阪府の広告代理店に就職。コピーライターおよび商業筆文字師として活動。
2014年4月、農業を志し、地域おこし協力隊として愛媛県松野町へ移住。現在、桃農家として農業再生に取り組んでいる。

撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



2021年7月1日撮影

げん せい 原生つつじ公園のフクリンササユリ

西予市大野ヶ原にある「原生つつじ公園」はヤマツツジの群生地、地域の人たちによって整備された公園には散策道があります。

牧野富太郎を描いたNHKの朝ドラ「らんまん」が放送されていることもあり出生地の高知県佐川町や牧野博士ゆかりの植物が注目されています。

牧野博士が名前をつけた植物は1500種類以上、そのうちの1つが「原生つつじ公園」に咲くフクリン（覆輪）ササユリです。この花は四国に自生するササユリで、葉の縁が白く色づくことから、こう呼ばれているそうです。7月になると同公園周辺で咲いてるのが見つけられます。原生つつじ公園へは、大野ヶ原のミルク園前からブナ林の方へ2キロほど行くと公園の駐車場に着きます。



2021年7月1日撮影



北濱 一男 写真家

1945年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめるが、本格的な写真歴は約20年。現在は、奈良県明日香の写真家 上山 好庸氏に師事し毎月奈良へ通う。「撮り歩きなんよ」(ブログ) <http://uwatu.blog135.fc2.com/>

「プールを地域の拠点にしたい！」

メッサ スイミングクラブ宇和島 代表 << HYODO KOICHI 兵頭 広一

数年ぶりに宇和島市内にスイミングクラブが完成した。オープン前の多忙な時間を割いて頂いて代表の兵頭広一さんにお話をうかがった。

小学生の時、市内の水泳大会に出た程度で、特に水泳が得意ということでもなかった。中学校でも、野球部へ入部したが途中、卓球部にも入ったりと特にスポーツに没頭するような事はなかった。

そして、宇和島高等学校に入学しても特にお目当ての部活は無なかったが、ある日、水泳推薦で入学した同級生が初めてプールに行くので付き合ってくれ、と言うので軽い気持ちで同行するとプールサイドのパイプ椅子に座った先輩から、いきなり「お前、やる気あるんか」と言われ、思わず「頑張ります」とこたえてしまつて、自動的に水泳部入部が決まった。

「先輩の圧力に屈して入部することになったんですが、この時、そのうち辞めるんやろうなと、ぼんやり思っていたような気がします」

ところが、練習は厳しかったものの泳ぐことが楽しくて、水泳部で過ごす時間が何にも代えがく居心地が良かった。結局、3年生の夏の最後の大会まで部活動を続けた。

高校卒業後は社内にプールも水泳部もある愛知県にあるトヨタ系の会社に就職した。

その年は、ちょうど岩崎恭子選手がバルセロナ五輪で金メダルを獲った時の選考レースが名古屋で開催されるということで観戦した。予選と決勝の間、サブプールをみていると、選手よりもアドバイスをしたり、フォームをチェックするコーチの姿に釘付けになっていた。

「その瞬間、『水泳のコーチになりたい』と思ったんですね」さっそく、その夜、知り合いを通じてスイミングクラブ宇和島（坂下津）へ連絡をつけて、翌年の春からコーチとして働くことになった。

結婚し、子どもが生まれ30歳になった頃、様々な思いから2年間ほどスイミングコーチから離れたことがあったが、やはり自分にはスイミングコーチしかないと帝京第五高校のプールでのコーチに復帰する。

しかし、10年ほど経った時、学校の都合でプールを廃止することが決まり、どうするか決断を迫られることになる。

「自分の子どもも大きくなって、これ以上ワガママは続けられないと思って、ずいぶん悩みましたが、指導していた選手の父兄から『今からもコ

ーチの指導受けさせたいんやけど、どうにかならんの：』と、今思えば有難い声を掛けて頂き、そこから色々あたっていたら、伊予市の伊予スイミングさんから『2レーンなら貸してもいいよ』と言って頂いて、すぐ中古のバスを購入して再出発してきましたんです。でも、当然それだけでは食べて行けないので、バイトをしながら午後3時頃からは伊予市のプールまで子どもたちを送迎、指導して夜の10時頃に帰宅、という生活を年中ほぼ休み無しでやってました」

転機が訪れたのは、熱中症をこじらせ入院していた時だった。県内で手広くスイミングクラブを運営していた「かしまスイミング」から「大洲のスイミングクラブを買わないか」と連絡があったのだ。

退院後、「かしまスイミング」へ出て、融資さえ決まれば購入したい旨を伝え、さっそく宇和島信用金庫に勤めていた同級生のAくんに相談し、2018年1月、大洲市に「メッサスポーツクラブ」をオープンさせた。

それから4年が経ち、運営にも目途がついて、スタッフや宇和島の後輩から「宇和島にスイミング作りましょうよ」と励まされ、約1年の準備期間を経て、2023年6月2日、

メッサ・スイミングクラブ宇和島をオープンさせた。

最後に今後の意気込みを話してくれた。

『宇和島にスイミングクラブを造る』という事には特別な想いがあります。それは、かつて、宇和島に二つあったスイミングクラブが無くなった後、『宇和島にスイミングクラブを復活させよう』と奔走し、志半ばで突然亡くなってしまった先輩がいて、わが社の起業日も、その先輩の誕生日にさせて頂いているからです。なので、宇和島にこうしてスイミングクラブが完成できた事は大変感慨深いものがあります。宇和島市周辺は海も近く、学校水泳が縮小傾向にある中、子どもたちに命を守る泳力をどのようにして身につけさせるか、そして部活動の現状を考えた時にスイミングクラブの存在はとても重要だと思います。私の夢は、プールを中心に親子三代が集える場所を作りたいということなんです。その為に地域の方々や利用者さんの声にも耳を傾け、健康維持から全国大会へ出場する選手育成まで幅広いユーザーのニーズにお応えできる『あそこに行けばどうにかなるプール』を目指していきたいと思っています」

インタビュー・構成／川尻純滋

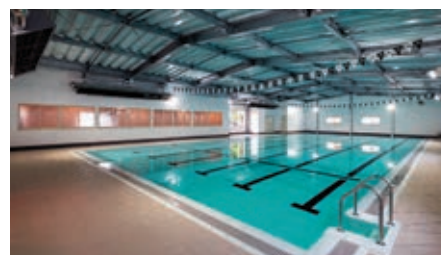


兵頭 広一 1972年 宇和島市に生まれる。

宇和島東高等学校に入学し水泳を始める。スイミングクラブ宇和島で指導者としてスタート。

2014年10月より競泳チーム「MESSA」を立ち上げる。2018年1月より大洲市にて「MESSA SPORTS CLUB」の運営を開始するにあたって法人化。

2023年6月「メッサスイミングクラブ宇和島」開業。



ベビークース (6ヶ月～2歳11ヶ月)

内容 ベビーマッサージ (体操)・水慣れ
時間 水曜日 10:00～11:00
土曜日 11:45～12:45
月謝 月2回 2,900円
月4回 5,800円

Cコース (5歳～)

内容 水慣れ～4泳法習得者
時間 火～金曜日 18:00～19:00
土曜日 9:30～10:30
月謝 週1登録 6,900円
週2以上登録 9,250円

Aコース (2歳～未就学児)

内容 水慣れ～クロール
時間 火・水・金曜日 16:00～16:50
土曜日 13:00～13:50
月謝 週1登録 5,800円
週2以上登録 8,100円

Dコース (4泳法習得者)

内容 競技会へ向けての練習
時間 火～金曜日 18:00～19:30
土曜日 14:00～15:30
月謝 週1登録 7,500円
週2以上登録 11,500円

Bコース (5歳～)

内容 水慣れ～4泳法習得
時間 火～金曜日 17:00～18:00
土曜日 10:30～11:30
月謝 週1登録 6,900円
週2以上登録 9,250円

成人フリーコース

(15歳以上で支援なしで運動ができる)
内容 フリーコースの時間帯でプールの利用可
時間 火～金曜日 10:00～18:00 (17:50退水)
土曜日 10:00～14:00 (13:50退水)
月謝 5,800円

成人プレミアム会員

(15歳以上で支援なしで運動ができる)
内容 全てのレッスンとフリーコースの利用
月謝 6,900円



無料体験も
出来ます!



MESSA

メッサ スイミング クラブ宇和島

〒798-0077 宇和島市保田甲 302-1 Tel 0895-49-4561



畦地梅太郎記念美術館 井関邦三郎記念館 開館20周年記念

三間の偉人と小さな記念館の軌跡



開館20周年

美術館・記念館のこれまでと今後

文

畦地梅太郎記念美術館
井関邦三郎記念館

館長 石丸光計



梅太郎のアトリエを再現した展示。本人の山道具なども置かれている。

当館は、平成15（2003）年7月に三間町総合交流拠点施設として開館しました。ともに三間町名誉町民であります版画家畦地梅太郎（以下…梅太郎）と井関農機の創業者 井関邦三郎（以下…邦三郎）を顕彰するとともに、地域文化の振興を図ることを目的に建設された美術館・記念館で、「山の版画家」と称された梅太郎にびったりの木造の建物です。

その後、建物は「道の駅みま」となり、全国的にも珍しい道の駅と併設された美術館・記念館として現在に至っています。

平成24（2012）年には、松山自動車道延伸に伴う西予宇和と宇和島北間の高速道路が開通し、市外・県外からも多くの来館者を迎える施設となりました。

畦地梅太郎記念美術館の中心には東京都町田市にあった梅太郎の自宅アトリエ内部を再現したコーナーがあります。机の上に置かれたメモや手紙等にいたるまで、一つ一つが元の通り配置され、室内に入って間近に見ることができ、本物のアトリエにふと訪れたかのような雰囲気を感じていただけます。また、このコーナーでは、梅太郎の作品や生涯をより知っていただけるように20分程のビデオを観ることが出来ます。

当館が収蔵している梅太郎の作品は、約360点あり、版画以外に油彩画・素描や原画・肉筆画なども多数収蔵しています。

また、版画作品の元となる版木も多数寄託されており、作品制作の過程や彫り・刷りの技術をつかぐ上でも重要な資料となっています。年に3〜4回の企画展を開催し、より深く作品を味わっていただけるように毎回テーマに沿った作品を展示しています。梅太郎以外では、同じ三間町出身の中尾義隆・河内政義・藤部吉人・二宮好史・松本秀一・兵頭浩章の作品も収蔵しています。

井関邦三郎記念館では、邦三郎の「農家を過酷な労働から解放する。農家に喜ばれる機械を作る」という経営理念の基に開発された農機具のいくつかを展示しています。さらに、昭和11（1936）年に37歳の若さで井関農機株式会社を設立しましたが、昭和20（1945）年の松山大空襲で工場をすべて焼失し、これまで築いてきたものが灰になった邦三郎が再び工場を再建し、一步一步規模を広げながら、やがて国内有数の農機具メーカーに育て上げていった軌跡を年表やパネルで紹介しています。また、昔と今の米作りを比べて、稲作の発達を学習できるビデオも好評です。地元の小・中・高校生も見学に訪れ、おいしい三間米の産地として知られる三間町が日本の農業の近代化・機械化に大きく貢献した邦三郎の生まれた土地であることを知り、郷土への誇りをより一層感じたと話してくれました。当館は、お陰様で今年7月に開館20周年を迎え、7月15日〜10月23日の会期で開館



写真右：石丸館長ほかスタッフのみなさん 写真左上：館内には三間町出身の彫刻家 藤部吉人の代表作「森の魚」も展示してある
写真左中：畦地梅太郎の展示コーナー入口（肖像写真：早田清美） 写真下：井関邦三郎の展示コーナー入口

20周年記念特別展を開催します。この場をお借りしてご支援をいただいております多くの関係者、ご来館いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

畦地梅太郎記念美術館では、「畦地梅太郎生誕120年特別展」と題し、初期の鉛版画にはじまり、木版画による都会風景から故郷の自然や雄大な山々・山男を描いた作品、抽象表現、晩年の家族の中の山男へと、畦地作品の変遷をたどります。自らの人生を「とぼとほ」と表現した梅太郎の確かな版画の歩みをご鑑賞ください。

井関邦三郎記念館では、農業の近代化を支えた邦三郎の経営理念がどのように実現されていたのか、また、その後どのように継承され、さらなる進歩へとつながっているのかを農機具の展示と映像によって振り返ります。さらに、これからの農業が向かうであろう新たな方向性を探ります。

今後は、コロナ感染防止対策を継続しながら、より魅力のある企画展の開催に努力していきたいと思っております。美術館・記念館の流れは、ただ鑑賞するだけではなく、参加・体験できる展示へと動いています。当館では美術館の一角に、版画に興味を持たれた方が4版の多色刷りを体験できるコーナーがあります。実際に刷ってみることで、版画の奥深さやおもしろさを感じたという声をたくさんいただいています。

また、毎年10月の企画展の中で、「木版画で年賀状を作ろう」というイベントも開催しています。限定10名のイベントですが、ご好評をいただいています。

そして、今年の企画展では美術館が二つ、

記念館が一つ、ギャラリートーク・講演会を計画しています。来館者が興味・関心のある話を聴くことのできる場を設けることで、自由に参加していただける機会を増やし、多くの方に当館を利用していただければと考えています。

今後も当館の新しい展示や試みに注目していただければ有り難く思います。

令和5年度展示スケジュール

日程	展示会名	概要
令和5年2月10日 ～4月26日	山男の眼(まなこ)展	梅太郎の描いた様々な「眼」に着目した展示。
令和5年4月29日 ～7月10日	青のありか 吉田淳治展	宇和島出身の画家 吉田淳治の作品を展示。
令和5年7月15日 ～10月23日	開館20周年記念 「畦地梅太郎生誕120年特別展」	梅太郎の代表的な作品たちを変遷に沿って展示。
令和5年10月27日 ～令和6年1月29日	河端由美香展 Change the World	画家 河端由美香の作品を展示。
令和6年2月2日 ～5月6日	畦地梅太郎 粋を集めた版画集作品展	梅太郎の版画集収録作品を中心に展示。

畦地梅太郎

こつこつと版を刻んだ生涯

文

畦地梅太郎記念美術館
井関邦三郎記念館

館長 石丸光計



80歳ころの梅太郎（アトリエにて）

「らいだった」と。版画家になってからも山を愛し、数々の山を自分で歩きながら、そのときの経験や想い、動植物との出会いを版に刻みました。外から眺めた山の姿ではなく、自分が実際に登った山を描いたからこそ、その作品から山の重量感や壮大さが強く伝わってくるのでしょう。単なる山のスケッチではない迫力や重々しさが梅太郎の山の作品の大きな魅力だと思います。

「親子鳥」という作品は、コスモスホール三間のどん帳の原画になったものです。90歳の時に帰郷し、ご夫妻でコスモスホールを訪問した梅太郎は、「引き金のない鉄砲を下向きに伏せている山男は、争いを好まず、平和な世界を求めている山男の姿です」と話されたそうです。山男は自分自身の姿であり、山男を通して、自分の山に対する考え方や想いを表現しようとした梅太郎。山男の作品にもその時々自分の想いを込めて版画を制作しているのです。山男の作品は、サンパウロ・ビエンナーレなどの展覧会にも出品され、その名は海外でも知られるようになりました。

当館では、一昨年の8月から11月にかけて「下絵・版画展」版画の始まりと終わりを「」を開催しました。梅太郎は、生涯に何点の版画を制作したのか分からないほど、多くの版画を制作していますが、一枚一枚きちんと下絵を描いて制作をされており、千枚を超える下絵が今も大切に保存されて

います。その版画は、素朴で温かく親しみやすいものですが、一見シンプルに見えても、その裏には、考え抜かれた色使いや線、刷りなどの細やかな手仕事が行われています。下絵からも、版画がいかに試行錯誤した上に出来上がったものであるのかを窺い知ることができます。

たとえば「大正池」の下絵は、色や構図を変えながら何枚も描かれていますし、「槍ヶ岳」の下絵では、ハイキングに行くかのような服装の若者が描かれています。最終的には、裸で肩にザイルを掛け、これから岩壁に挑もうとする山男の姿で表現されています。このように、常によりよい表現を追究した妥協を許さない制作姿勢を感じることができま

す。美術館には、図工や美術の授業の一環で小・中学生が見学に訪れます。私は、版画の魅力はもちろんですが、梅太郎の人柄からも学んでほしいとの思いから三つのことを話しています。一つは、自分の意志を最後まで貫く強い信念をもった人だったことです。若くして志した版画の道は、たいへん険しいものでした。著名な版画家の刷りを手伝いながら、マッチのレッテルや便せんなどの刷り物、雑誌のカット描きなどで収入を得て、少しずつ技術を身に付けていきました。やっと名前が世に出たのは、40歳にさしかかった頃、「山の版画家」として注目されるようになってからです。60歳

で版画家としての地位を築いてからも、新たなテーマや表現を模索し続けました。

「版画は常に先へ先へと進んだものでなければいけない」これは梅太郎の生前の言葉です。二つ目は、ものを大切にする人だったことです。版画を始めたときに買い求め、晩年まで使い続けたバレンや彫刻刀、下絵を描くときに使ったたくさんのクレヨン、和紙で作った財布、手作りの机や椅子など、美術館の中は大切に使い続けた品々であふれています。三つ目は、家族を大切にすることです。幼い娘のために手作りの木製のクレヨン箱があります。家族との思い出を綴った画文集も刊行しました。奥様をはじめご家族も梅太郎が版画に専念できるように支え続けました。晩年、家族や孫たちに囲まれた山男の姿をたくさん描いていることは、家族思いだった梅太郎や支え続けたご家族の姿と重なります。

梅太郎は、平成11年4月、96歳でその生涯を閉じました。母校の二名小学校の校庭には、「母の声」という自筆の詩が刻まれた記念碑が建っています。15歳で一人故郷を離れ、上京する朝のせつない思いが伝わってきます。真つ暗な道を、不確かな人生に向かって、とぼと歩み出した少年梅太郎は、やがて、日本を代表する版画家の一人となったのです。その生涯は、常に前を向き、新たな表現を追究しながら、こつこつとまじめに版を刻んだ生涯でした。

畦地梅太郎（以下…梅太郎）は、明治35（1902）年、北宇和郡二名村金銅に生まれました。15歳で単身上京し、新聞配達をしながら絵の勉強を始めます。23歳の時に、勤務していた内閣印刷局の職場にあった鉛板に釘で絵を描き、印刷用のインクをつけて刷ってみたことがきっかけとなり、版画の道を志すようになります。初期の鉛版画に始まり、木版に移行してからは都会風景、さらに故郷の自然風景、雄大な山々やひげ面の山男を描いた作品、抽象的な表現の試み、晩年に描いた家族の中の山男と自身の人生を映し出すかのように表現の主題も変化していきました。

梅太郎が山を描いた原点には、生家の裏山を駆け回った子ども時代の経験が基になっていると著書の中で書いています。

「学校から帰ると学校道具を投げ出して裏山へ入った。家に閉じこもって本など見ていると、病気になるかと親が気にするく



版画「大正池」1947 年



「大正池」4 枚の下絵



版画「親子鳥」1955 年

母の声

家を出る朝は早かった
真っ暗いなかを母は庭さきで
見送ってくれた
別れの言葉はきこえても
母の姿は闇の中
なにも見えなかった
父と二人夜道を黙々と歩いた
夜が明けて宇和島のお城が見えた
今日をかぎりに国ともおわかれか
と思うと胸がつまった

梅太郎



梅太郎の記念碑「母の声」(宇和島市三間町二名小学校)

一代でトップメーカーを築いた井関邦三郎

畦地梅太郎記念美術館
井関邦三郎記念館

館長 石丸光計



提供 / 井関農機（株）

の教えがあつたのでしよう。また、「この機械は絶対に売れる」という先を読む先見性も持ち合わせていました。ここぞと思うと、機械の全国での製造販売権を当時としては破格の五千円〜六千円で獲得したこともあつたそうです。その決断力や行動力には、驚くばかりです。

井関邦三郎（以下・邦三郎）は、明治32（1899）年、北宇和郡三間村に生まれしました。三間村尋常高等小学校高等科を卒業し、家業の農家を継ぎますが、やがて「自分は農業に向いていない。何か商売をしたい」と考えるようになりました。19歳の時に田畑を売り、商売を始めます。この時、父親から、「ありきたりの商人にはなるな。人に迷惑を掛けるようなうそをつくな・自分は失敗しても人には損を掛けるな」という言葉をもらい、自らの教訓として生涯守り通したといひます。

当初は、郷里で大野式除草機の販売を始めますが、やがて、高性能の全自動耕すり機の製造・販売を松山で開始し、井関農機の基礎をつくりました。当時は、重い農機具をリヤカーに積んで農村を巡り、ぬかまみれ、汗まみれになつて、一台一台注文を取つたといひます。心の中には、いつも父

に育て上げたのです。

邦三郎の下で働いていた人たちの回顧録を読むと、けつしてワンマンな人ではなかつたことが分かります。常に相手の立場に立つて物事を考え、他人の意見も尊重し、苦言にも素直に耳を傾ける方だつた、と邦三郎の人柄を綴っています。

晩年、民間人としては最高の榮譽といわれる勲三等旭日中綬章を受けた時には、従業員を前に「皆がよう仕事をしてくれたので、わしが勲章をもらうた。すまんのう…」とあいさつをしたエピソードも紹介されています。また、花づくりが趣味で、松山の萬翠荘の菊花展・バラ展の開催を支えたとも聞きます。

こうして邦三郎の歩みをたどると、冷静な判断力と確かな目で進むべき方向を定め、大きな包容力で周りを温かく包みながら、皆をその方向に導いていく、そんな人物像が浮かび上がってきます。昭和45（1970）年、71歳で生涯を閉じました。

今年も三間町の田園では、井関の青い農機具が活躍しています。井関のマークの入った帽子を買いに記念館に來られた農家の方もおられました。邦三郎の残した足跡は、今も三間町の中にしっかりと息づいていて感じます。

最後に、三間町内には邦三郎ゆかりの場所が四箇所あります。生家跡地・邦三郎の

記念碑・井関家のお墓・三間支所の胸像です。中でも生家跡地は、三間インターを下りた信号の左手の山の中腹にあり、記念館から歩いてすぐの所にあります。坂を上ると二つの石碑があります。一つは、邦三郎の実姉である水野ライの誕生の地と刻まれた石碑です。彼女は生涯に渡つて三間を愛し、99歳で亡くなつたそうです。もう一つは、その彼女が建立した井関邦三郎誕生の地と刻まれた石碑です。二つの石碑が並んで、記念館を見下ろす場所に建っています。そこからの眺めは最高で、務田・迫目・宮野下・戸雁一体を広く見渡すことができます。マップを見ながら、ぜひ、ゆかりの地を巡つてみてはいかがでしょうか。





トラクター T B 20 型

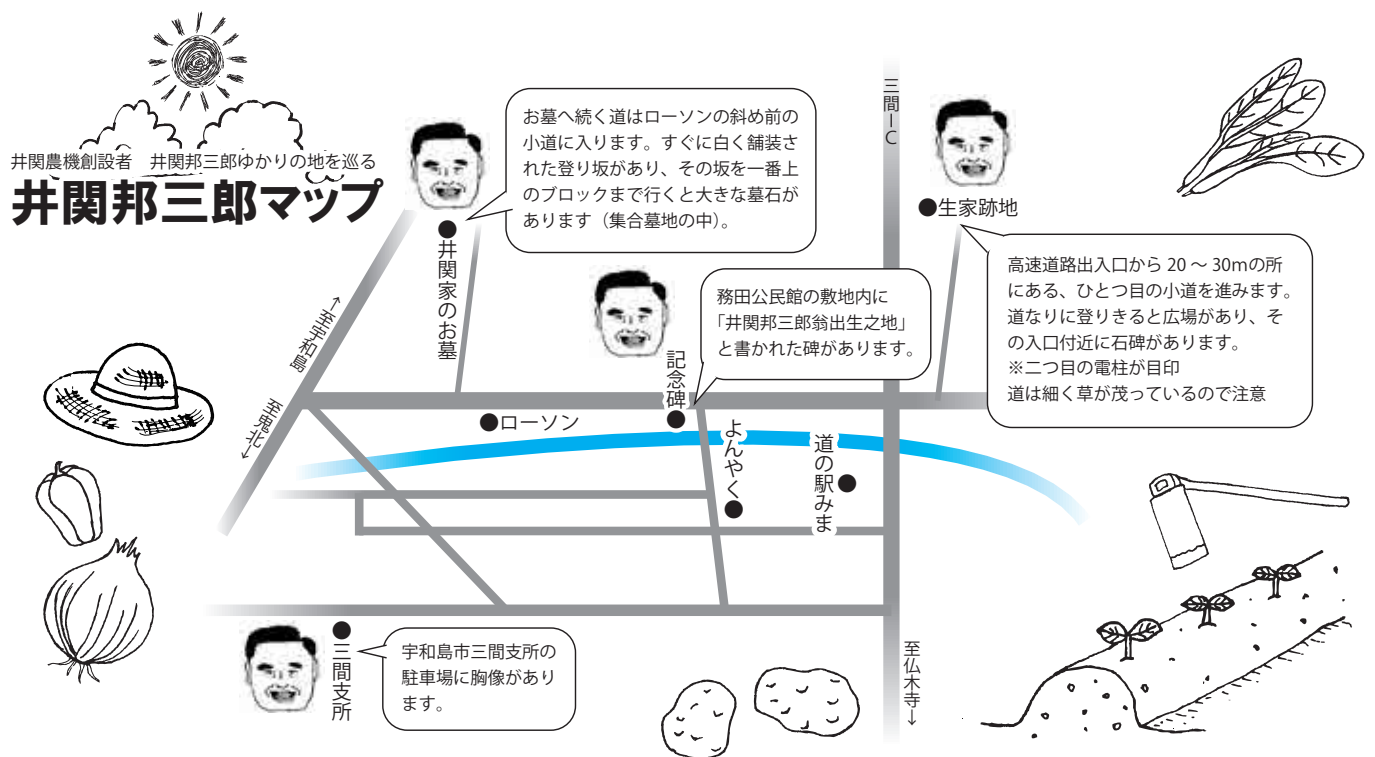
昭和 40 年、井関農機が輸入販売していたポルシェトラクターを参考に、日本の気候風土に合わせて開発。高所でのエンジン性能を研究するため富士登山を試みた。二日かけて無事登頂を果たし、高い性能が評価された。

※両機とも井関邦三郎記念館に展示されています。



全自動籾すり機第 1 号

「岩田式籾はぎ機」と「山本式自動選別機」とを組み合わせることを思い付き、改良を加えて、昭和元年に「全自動籾すり機」を開発。1 台 400 円で売り出したところ、初年度には 36 台、後に 100 台、150 台と生産台数が伸びた。



石丸光計プロフィール

畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館 館長
1958 年 宇和島市生まれ 2019 年 教職を定年退職
愛媛県美術会会員 えひめ版画協会事務局 宇和島美術協会役員





畦地梅太郎記念美術館オリジナルグッズ



■切手風シール

各¥320（税込）「山・山男」（上）「らいちょう」（下）
梅太郎の作品がシールに、あなたならどこに貼りますか？



■クリアファイル

各¥200（税込）
「よろこびの山」（左）
「白い像」（右）



■マスキングテープ 各¥300（税込）

ホワイト（左）アイボリー（右）



鳥のこえ

鳥にさく

伊予の闘牛



■ブロックメモ 各¥300（税込）

梅太郎の作品がデザインされた
3種類のブロックメモ
w9cm×H9cm×D1cm



■スマホケース「白い山男」

¥3,500（税込）
梅太郎の代表作「白い山男」が
プリントされたスマホケース



■キャンバスポーチ

各¥2,000（税込）
「山のぬくもり」（右）
「親子よろこぶ」（左）
w20cm×H12cm

この他にもたくさんのグッズが販売されています。

宇和島信用金庫 2024 年版カレンダー 作品公募展のご案内

毎年、ご好評を頂いております。宇和島信用金庫のカレンダーですが、そのカレンダーに使わせて頂く作品の公募展を下記日程で開催いたします。

また、公募展期間中はお気に入りの作品に投票して頂き、最多得票作品には「優秀賞」を贈呈いたしますので、是非、会場に足をお運び頂き力作をご鑑賞下さい。



昨年の公募展の様子

- 会 期 7月25日(火)～30日(日)
- 時 間 10:00～17:00 (最終日は15:00まで)
- 会 場 アトリエぱれっと
宇和島市伊吹町 1083-1-2F ☎ 090-7784-4703

宇和島市内 同窓会総会のご案内



■宇和島水産高等学校

日 時：8月19日(土) 開催時間は未定
会 場：JR ホテルクレメント宇和島
会 費：未定 (お問合せ：☎0895-22-6575)

■宇和島東高等学校 (当日参加可)

日 時：8月11日(金・祝) 15時～ (お問合せ：☎0895-22-0261)
会 場：JA えひめ南 2F エターナルホール
会 費：5,000 円 (※30 歳以下の方は 1000 円キャッシュバックあり)
チケット：各期理事ないしは学校事務所で購入下さい。

■校史資料館開放 (正門入って右)

時 間：10:00～13:00
詳しくはホームページをご覧ください
同窓会ホームページ <http://u-higasi-dosoukai.com/>



■宇和島南高等学校

日 時：8月12日(土) 17時00分～
会 場：宇和島市役所大ホール
会 費：南高卒業者 4,000 円
：中等卒業者 2,000 円 (事前振込)
(お問合せ：☎0895-22-0262)

詳しくはこちらから→



■吉田高等学校 (当日参加可)

日 時：7月30日(日) 14時～
会 場：吉田公民館大ホール
会 費：3,000 円 (お問合せ：☎0895-52-0565)
※QR コードを読み取って申込みフォームに入力してください



— 畦地梅太郎記念美術館／井関邦三郎記念館 —

開館 20 周年記念 特別展 会 期：2023 7/15 (土)～10/23 (月)



版画「白い山男 (1964)」



畦地梅太郎 生誕 120 年特別展

- 講演会 7/15 (土) 10:00～11:00
「畦地梅太郎と南予～120 年と 20 年～」 愛媛県美術館 主任学芸員 喜安 嶺
- 畦地ミュージアムグッズプレゼント 7/15 (土) 先着 100 個 (1 組 1 個)
- クラシックミニコンサート 7/17 (月・祝) 11:00～ / 13:00～ (各 30 分程度)
- ワークショップ「木版画で年賀状を作ろう」
10/15 (日)・10/22 (日) 13:00～17:00 (2 日間)
対象：小学 5 年生以上 定員：10 名 要予約 ※詳しくは美術館までお問合せ下さい。
※版画「白い山男 (1964)」の版木も展示されます。

井関邦三郎 “農家を過酷な労働から解放したい” の今日

- 現代の農機具展示 7/15 (土)・16 (日) 試乗・写真撮影可
- キセキグッズプレゼント 7/16 (日) 先着 100 個 (1 組 1 個)
- 講演会「井関農機が取り組むスマート農業」
10/1 (日) 14:00～15:00 井関農機シニアアドバイザー 小野 弘喜

【入館無料日】

7/15 (土)～17 (月)
8/11 (金・祝) [山の日]
8/26 (土)・27 (日)
10/1 (日) [新米まつり]

畦地梅太郎記念美術館／井関邦三郎記念館

愛媛県宇和島市三間町務田 180-1 (道の駅みま併設)
松山自動車道三間 IC そば (宇和 IC～三間 IC 無料区間)

【開館受付】9:00～16:30 (7/15 は 10:00 開館)

【入館料】大人 300 円 (200 円) 高・大学生 200 円 (100 円) 65 歳以上 200 円

* () 内は 20 名以上の団体料金 * 中学生以下・身体障がい者手帳持参の方無料

いのちのはなし グーチョキパー 4

「あいこで パー」 文 / 毛利弘子



「パーはね パーしたてをみてごらん
てのひらにしわがある しわとしわをあわ
せと そう し・あ・わ・せ そうだねい
たきます ぐちそうさま おいしくいた
だけで し・あ・わ・せ」

今まで、当たり前だと思ってきたことが
「出来ない、しない、してはいけない」事にな
り、人と会って顔を見ながらおしゃべり
したり、直接手に触れたり、ハグ出来たり
と人の温かさを感じることから離れていた
コロナ禍の3年余り。

人に会わなくなつて、外に行かなくなつ
て事は進み、生活は出来るじゃないか、一
人でも平気とみんなが思いだし、簡素化、
デジタル化がすごい勢いで進んでいる。

「いやいや、ちょっと待ってー」と、アナロ
グな私は焦っている。確かに、指一本で事
が進みスマートで便利な生活は魅力的では
あるけど、何か、なにかを忘れ去られそう
で、置き去りにしているようで、とても不
安になる。コロナ禍の非日常的な日々の中
で、私達が気がついたことはなんだったん
だろうか。

「てのひらを あたまのうえに やさしく
のせると あったかい ありがとう えら
いね がんばったねって ほめてもらえる
とうれしいね なんだか にこにこえがお
になつてくる し・あ・わ・せ」

そうだよ！Aーと人の間には生まれない、

人と人の間だから醸し出される人のぬくも
りや、言葉の温かさからくる安心感や安ら
ぐ空間は、人間や動物が持つている最大の
魅力・特性だと信じたい。近くにあるがゆ
えに、気がつかない小さな幸せに心から感
謝し、大切にしていきたいと思つた日々で
あつたはずである。

私達は誰もが、たくさんの人々に期待さ
れる「いのち」の持ち主である。苦心の道
のりがそれぞれにあるとも、誰もが「生
まれておいで」と願われて誕生してきた
「いのち」は、ただその存在だけで、あたた
かく、光そのものであり、力強い。

「生きているだけで百点満点・生まれてき
てくれてありがとう。あなたに逢えて良か
った」たとえ、だれが褒めてくれなくても、
一番身近にいる自分自身が、しつかり、し
つかり自分を褒め称えよう、誇りに思おう。
「きょういちにちががんばった じぶんをほ
めてあげなくちゃ じぶんでじぶんには
なまる あげよう しあわせなところで
ねむったら にこにこえがおで おはよう
さあ きょうも いちにち はじまるよ
ときどき おもいだそう いのちのはなし
グーチョキパー」



もうりひろこ (著) みずせき ゆりえ (絵)
価格 1,572 円 (税込)



毛利 弘子プロフィール

1952 年生まれ 公立小中学校養護教諭を 40 年経験後 2012 年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数

- 受 章 / 平成 24 年愛媛県学校保健功労賞 令和 3 年文部科学大臣学校保健功労賞
- 執 筆 / 「いのちのはなしグーチョキパー」(エイデル研究所出版)
- その他 / ・和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
・退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
・カサヨハネ (知的障害児) 放課後デイサービス非常勤講師ほか
- 趣 味 / 陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート

古い街並みと昭和レトロ家電

兵頭電機商会

宇和島市津島町の岩松商店街の一角に昭和レトロな家電が所狭しとならぶ不思議な場所がある。

ポップアップトースター、ラジカセ、ウォークマン、レコードプレーヤー、
オープンリールテープデッキにブラウン管テレビなど昭和のユニークな家電ばかり

1983年にソニーから発売されたポータブルレコードプレーヤー「PS-F9」。
直立・水平どちらの置き方も出来、さらには壁掛けも可能で、「フラミンゴ」という愛称で親しまれた。
ヘッドアンプやトランスミッターが内蔵されており、当然コードレスでの演奏も可能。
発売当時の価格は 39,800 円



レコードプレーヤー

トランジスターやコンデンサーが並ぶ基盤

好きなモノを好きなように並べていたらこうなりました。

Topics



大好きなレトロ家電と兵頭 肇さん

店主の兵頭 肇さん（67）（以下…肇さん）によると、「父は戦後、町内で数台しかない車を持つていたので自宅を小さな電器屋に貸して、自分は運送屋を始めたのですが、その後、その電器屋は廃業してしまいます。しかし、その電器屋のお客さんから引き合いが絶えないので、仕方なし電器屋を続けることになったそうです。そして、やがて高度経済成長期になって、三種の神器と呼ばれるテレビ、洗濯機、冷蔵庫が飛ぶように売れだして、店は大いに繁盛し、電器屋が本業になったということです」

そんな父親の商売を横目で見ながらも電器屋にはまったく興味がなかった。特に目標もないまま、どの高校に進むか進路を決めないといけない時、宇和島市（津島町は当時、北宇和郡津島町）の友人に進路を聞くと「俺は吉田高校の電気科へ行くぞ」というので「じゃあ俺もそこにしよう」と吉田高等学校の電気科へ進学した。高校卒業後は電機メーカーに就職したが、決め手は強い野球チームがあったから、仕事より野球に没頭していたの言うまでもない。しかし、父親が高齢になってきたこともあり、嫌だった電器屋の跡を継ぐため津島に戻って来た。津島に戻ってからは、オーディオ機器を購入して大好きな70〜80年代洋楽ロックを聴いたり、エレキギターを弾いてバンドで演奏したり、商工会青年部に所属して町おこし活動に没頭した。そして20年程前、岩松の町おこしに関わっている時、「店の前を通るお遍路さん」と話ができて



- 写真①：シャープの電卓そろばん、オープンリールデッキ、ビデオカメラ
- 写真②：コンデンサーやトランジスターが並ぶ基盤はダブルカセットデッキ、音楽を流すこともできる
- 写真③：世界的に大ヒットしたソニーのウォークマン
- 写真④：購入したものの、着火時の「ボン」という音が嫌でほとんど使われなかったという、グッドデザイン賞の瞬間湯沸かし器やポップアップトースター
- 写真⑤：兵頭電機商会の外観

しかし、観るためには肇さんが店に居る時でないとダメなので、先ずアポイントを取る必要がある。そして何より重要なのは「肇さんのうち」という事を忘れてはいけない。

「当時、母が店番をしていたので、少し遠慮気味でしたが、母が亡くなってからは本格的に展示するようになりました。カフェは私が居る時にしか営業出来ないのが開店休業です」

その後、父親時代のデッドストックのポップアップトースターや基盤むき出しのダブルカセットデッキなどユニークなモノが増えていった。地元では余り知られていないが、ちょうど店の前が遍路道なので、歩き遍路をする人たちの間では、知られた存在だ。

「さぞ面白いだろうな」と思い、母が店番をしていた小さなスペースに使わなくなった古いオーディオを飾った。そして、その後、取り組んだ「どぶろく特区」の指定取得に飲食出来る施設が必要だったことから、そこに、イスとテーブルを備えカフェにした。

兵頭電機商会

宇和島市津島町岩松 976 ☎ 0895-32-2409



しまんとえきめしFORM(ホーム)

店主

文ちゃんとどつぽの
予土線のあの人に会いたい4

おかむらりか
岡村理佳さん



文／山下文子 写真／坪内政美



最寄駅は「窪川駅」



「せっかく四万十町の玄関口の駅にある店やき、来た人には地元の美味しいものを食べてほしい」と岡村さんは言う。
食堂のメニューは、できるだけ地元の生産者から直接仕入れているという。四万十豚に仁井田米、さらにうなぎだつて食べられるのだ。



宇和島駅を出発し、予土線が乗り入れる終着駅が高知県四万十町にある窪川駅である。およそ2時間半かけて到着。改札を出るやいなや、ぷうんと漂う食欲をそそる香ばしいにおい。駅の構内にある食堂、「しまんとえきめしFORM」からだ。引き戸を開けると、「いらっしゃいませ。あら、いつもありがとうございます」と元気な声で、店長の岡村理佳さんが迎えてくれる。
私は、この唐揚げが大好き♥。高知県のブランド鶏「四万十鶏」をオリジナルの味付けで提供している。もちっとした肉質にジューシーな肉汁。カリッと揚がった食感に、すっかり虜なのである。

岡村さんは、四万十町で生まれ育った。家族の職場からも、そう遠くなかったことから、駅はとても身近な存在だったという。「ここ、元々はキオスクやったがですよ。おつかいでタバコ買いに来たりして」と懐かしそうに話す。

「当時、ここから高知市内へ行くというたら、大都会へ行く、大旅行のような感覚だね。キオスクに、ちようど子どもの目線くらいの高さのガラスケースがあって、そこにお土産が並んでたんよね。お菓子をねだってみたり、冷凍みかんとかゆで卵とか塩むすびとか買ったり。プラスチックのあの容器のお茶とかすごく特別で、楽しみでたまらんかった」

そう、まさに食堂があるのは、駅構内の元売店「キオスク」だった場所だ。

私が物心ついたときには、もうすでにシャッターが下ろされていて窪川駅のキオスクはなくなっていて、高知駅から宇和島駅へ「青春18きっぷ」で予土線に乗って帰ろうとしたとき、乗り換えのため50分ほど駅で待ちぼうけしていたときに心細くさみしい記憶があるほど人けがない駅だった。

今は、どうだろう。この食堂の明かりがあるだけで、駅が温かさで包まれているのではないか。なんだか待ち時間が愛おしい。むしろ待ち時間をここで過ごしたいとさえ思う。「おいしかった、おなかいっぱい、って言ってもらえるだけで幸せ。来た人が喜んでくれたら、それだけで嬉しいし、がんばる力の源になる」と岡村さんは笑顔で話す。



文ちゃんの質問に身振り手振りを交えて話す岡村さん

そんな岡村さんにとって鉄道旅とは？と質問したところ：「飲み旅！」と即答。「車だと運転しなくちゃいけないけど、鉄道だったらお酒が飲めるじゃない！それが最大の魅力」と言う。しかし、予土線に乗ったことは？と尋ねると：

「実は一回もないのよね」とのこと。

その理由はただ一つ。列車内にトイレがないことだ。さすがに2時間半、ぶつ通しで酒を楽しむのは厳しい。途中下車しようにも、どうやってプランを立てようか：「列車の本数も少なくなってきた

るし、実際に乗ろうと思っても便利が良くないでしょ。も

っと乗客目線で改善してほしいところがあるなあ」と、ピリツと指摘。

本当にその通りだ。ダイヤに余裕があるなら、せめて停車駅でゆっくりトイレ休憩ができれば、接続の良さやダイヤの改善で、もしかしたら予土線を利



用する人も増えるのではないかと、とふと思う。気軽な飲み旅に、ちよつとだけ日常を離れて鉄道に揺られるのもこんなものである。

「予土線の乗務員さんもよく食べに来てくれるんですよ。ここ数年、コロナ禍で厳しかったけど、地元の人や遠くから常連さんもよく来てくれるし、今は、お遍路さんや外国人の旅行客も増えてきて、小さな店やけど本当に多くの人に支えられてる。感謝しかない」と岡村さんは、噛みしめるように話してくれた。

そして、インタビュの終わりに、我慢できず：「すみません、唐揚げ一人前お願いできますか」と注文したのは言うまでもない。



■しまんとえきめしFORM

786-0013 高知県高岡郡四万十町琴平町 16-24 (窪川駅構内)
営業時間：11：00～20：00 (ラストオーダー) ※途中、昼休憩あり
定休日：水曜日 ※不定休あり ☎088-029-6110
★テイクアウトも可能です！



山下 文子 (やました あやこ)

宇和島市出身、鬼北町育ち。予土線沿線は県をまたぐも「ザ・生活圏」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き。座右の銘は「その角を曲がれば、旅」(※永六輔氏のうけうり)。「四万十の鉄道 予土線」のホームページでコラムを担当。



坪内 政美 (つぼうち まさみ)

スーツ姿で撮影するという奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネーター。各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぽ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている。高知県予土線利用促進対策協議会アドバイザー。

四万十川の
鉄道よどせん



協力：高知県予土線利用促進対策協議会

「感謝」と「奉仕」

印刷業をしております有限会社大成社二代目の岡村康弘です。弊社は、昭和55年3月に八幡浜市の地で創業し、平成元年に現在の宇和町へ移転してまいりました。現在では鬼北町と宇和島市に営業所がありまして、おかげさまで持ちまして、今年で創業43年を迎えました。

主な事業内容は、商業印刷（チラシ・パンフレット・カタログ・ポスター・シール・冊子・名刺・はがき・封筒など）、帳簿印刷（各種伝票など）、その他（シール・ノベルティ・のぼり・看板など）を製作させていただいております。

私は西予市宇和町の出身で高校卒業後、山口県で歯科業界の営業で材料・機械を販売しておりました。先代の社長は私の嫁の父になりまして、自分の代で辞めてしまおうという話を聞き、ここまで築上げた会社を終わらせるわけにいかないと思い、覚悟を決めて帰省しました。その後、令和2年に社長を引き継ぎ、現在に至ります。

弊社は西予市から南予地域を中心に、官公庁・中小企業・同業印刷会社・個人まで幅広いお客様と印刷に関わる取引をさせていただいております。私自身の業務内容は、営業でお客様の所にお伺いさせていただ

て、作成内容の打ち合わせ、納品をさせていただいております。印刷物の製作していく中で、デザイン作成・校正・校了・印刷・仕上げと工程が多いため、日程を逆算して予定を組むことが難しく悩むことは沢山ありますが、完成した製品を納品させていただき、チラシの配布により集



客率があがった、製品が売れて売上が上がったなどのお声をいただけると、携わらせていただいていた本当に良かったなと思います。

印刷業界はインターネットの普及やデジタル技術の進歩によって変革の時に立たされています。新たな形を模索しながら、今後はより地域密着型になり、その地域の特定のニーズや要件に合わせた製品を製作し、満足度の高いサービスを提供していきたいと思っています。

最後に、先代社長から引き継いだ会社を守りながら、弊社の社訓でもあります「感謝」と「奉仕」の精神を忘れずに、地域社会・地元経済に貢献していきたいと思っております。



有限会社 大成社

西予市宇和町野田 400 番地 30 TEL 0894-62-0512

<http://taiseisha-seiyo.com/>


うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

魚成の実盛送り

害虫退散・無病息災の夏の行事（西予市城川町）
うお なし さね もり おく



西予市城川町の実盛送り

撮影／北濱一男

西予市城川町魚成地区の虫送り行事「実盛送り」は毎年6月最終日曜日に行われ、住民が手作りの齋藤別当実盛の人形を掲げて田畑をめぐり、五穀豊穡や無病息災を祈願する。その由来は、木曾義仲を討つため出陣した武蔵国の齋藤別当実盛が、稲株に足を奪われ不慮の死を遂げたとき、「すべてこれ運か（ウソカ）。死して稲作の守護神とならん」と誓ったのが起源という伝説がある。行事はウソカに化身したという実盛の霊を慰め、害虫退散を祈願しようと江戸時代に始まったとされる。魚成地区では、戦後一時衰退したが、昭和62年に鉦や衣装を新調し、地区あけての行事として継承されている。

実盛人形は、高さ90センチ程で、頭と胴体は桐の木で、手足は針金の芯にわらを巻き、厚紙で作った陣羽織を身に着け、右手に采配、左手に早苗を持つ。魚成地区の上流部に位置する田穂の宝泉寺で人形に魂を入れる「お性根入れ」の供養をしたあと、実盛人形を掲げて、一行15人程が出発。「ヒンヨームゴオミドー」と念仏を唱え、鉦や太鼓を打ち鳴らしながら、早苗の並ぶ畦道などを歩いて下流部に進む。途中、所々にある茅葺きの茶室で休憩をする。住民

※稲の害虫

が人形の首に下がった「さんや袋」に菓子や銭を包んだ紙を入れては手を合わす。これで夏病みをせず、無病息災になるといわれる。人形は下流の集落へと受け継がれ、合計6地区を中継、最後は約10キロ先の今田の杉之瀬川原に安置される。雨に恵まれて人形が早く流されると豊作になると言われ、また人形は住民の厄を託されており、流されると厄も流れるとも言つ。

同様の虫送り（実盛送り）は南予各地に見られる。伊方町三崎地区では人形を船に載せて送り出し、西予市三瓶町蔵貴でも人形は見られないものの、幡を「サネモリ」と称して虫送りが行われる。宇和島市津島町では戦前には実盛人形を増穂・岩松・畑地・須之川を約1週間かけて順送りしていた。鬼北町愛治地区でも大宿を出発し、生田、清水地区まで練り歩く。安楽寺で実盛人形を供養し、右手にナスとキュウリ、左手に弓を持った人形を先頭に、参加者は鉦や太鼓を打ち鳴らして、「ナーモイドーヤー、ナーモイドー」と念仏を唱えながら進み、沿道に集まった住民に赤飯のおにぎりを振る舞っている。これらは南予各地の夏の風物詩とも言えるだろう。

愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

おもと たか ひさ
大本敬久



1971年、八幡浜市生まれ
専門は民俗学・日本文化論著書に『民俗の知恵』（創風社出版）等

不眠症

不眠症は、眠る機会や環境が適切である

にもかかわらず夜間の不眠が続く、日中に精神や身体の不調を自覚して生活の質が低下する状態です。眠れないため日中の眠気、注意力の散漫、全身倦怠感などさまざまな体調不良が生じます。これらの症状が少なくとも週3回かつ3カ月以上持続する場合、慢性不眠障害と診断します。日本人の睡眠時間は平均して7時間半程度ですが、睡眠時間には個人差があるため、たとえば睡眠時間が短くても、日中の生活に支障がなければ不眠症とは言えません。

不眠症状には、寝つきの悪い「入眠障害」、眠りが浅く途中で何度も目が覚める「中途覚醒」、早朝に目が覚めて二度寝ができない「早朝覚醒」などのタイプがあります。日本の成人の30%以上がこれらの症状を有しているとの報告もあります。

高齢になると睡眠時間は短くなり、浅くなります。一方でやるべきがないと言って、早めに床に入る方もいます。夜の7時に布団に入って眠れないので睡眠薬がほしいと言われた患者さんがいましたが、その時間

では生理的に眠れません。仮に寝たとしても2時か3時には目が覚めるでしょう。就寝時間を遅らせないと、朝まで眠ることはできません。

お酒を飲むと入眠は良くなりますが、睡眠の質は悪くなり、中途覚醒が多くなります。また習慣的飲酒そのものが不眠の原因となります。カフェインの入った飲料や食べ物（コーヒー、紅茶、コーラ、チョコレートなど）は覚醒作用があります。夕食以降は控えましょう。ニコチンには精神刺激作用があるため、タバコも控えましょう。寝室は騒音、光などを避け、エアコンなどを積極的に使い快適な温度や湿度に保ちましょう。

起床時間は、なるべく決めておいたほうが良いですが、就寝時間は、あまりこだわらず、眠たくなってから床に入るようにしましょう。眠れないのに我慢して無理に寝床にいと、そのことが不安に繋がり、それを繰り返すことにより慢性の不眠になることがあります。寝床に入ってから15分ほど経っても眠れない時は寝床から出て、眠気が

きたら寝床に戻ることを繰り返すようにしましょう。

適度な運動は入眠を良くし睡眠も深くなります。夕方の運動が特に効果があります。ウォーキングなどの運動を習慣的に行うようにしましょう。

人の覚醒と睡眠にはリズムがあり、朝にしっかりと陽の光を浴びることにより体内時計がリセットされます。夜の明るい光やパソコン・スマホを夜遅くまで見ることによりリズムは崩れ、不眠の原因となります。夜はなるべく明るい光を避け、朝と昼は日光をしっかりと浴びましょう。

以上のような生活改善にも関わらず不眠症が改善しない場合には、睡眠薬の投与も適応となります。また、様々な疾患により不眠になる場合があります。過活動性膀胱や前立腺肥大による夜間頻尿、皮膚疾患による痒み、リウマチなどの痛みを生じる疾患、糖尿病、神経疾患、うつ病などによる不眠の場合には、原疾患の治療が優先されます。夜間の下肢の異常感覚・異常運動で眠れないときには、専門的な精査が必要です。



す。

人生の約1/3は寝床で過ごします。良い睡眠は良い人生に繋がります。不眠が続き悩んでいる場合には、医療機関でご相談下さい。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

新たな宇和島の特産品「きぬ青のり」について

山あり海ありの宇和島には、

多様な自然環境から生まれた美味しい農水産物がたくさんあります。これらの産物は、長年培われてきた生産技術によって磨きがかかり、現在もますます進歩を遂げています。また、それと同時に、新たな素晴らしい特産品も日々開発が進められているようです。そこで今回は、三浦半島の遊子でスジアオノリの養殖を行っているスリーラインズ株式会社（以下・スリーラインズ）をご紹介します。

「青のり」といえば、お好み焼きにかける



スリーラインズの皆さん

緑色の粉を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。それは、一般的に安価で手に入りやすい「アオサ属」が用いられていることが多く、スリーラインズが育てられているスジアオノリ（アオノリ属）は異なるものです。スジアオノリは、細い糸のような形状をしていて、磯の香りがアオサよりも濃厚で、アオノリの

中では最も美味しいとされる高級品種です。

スリーラインズは、母親である山内満子さんを筆頭に、ご家族で経営されています。生産の最大の特徴は「陸上養殖」で、海のそばで汲み上げた純度の高い地下水を使って、宇和海の太陽の光をたっぷり浴びせて光合成を促進させながら、つややかな美しいスジアオノリを育てています。その外観から商品名を「きぬ青のり」と名付け、これからの若い世代につなぐ新たなビジネスとして全国に発信しておられます。

今回は、この「きぬ青のり」を使って巻寿司を作ってみました。スリーラインズでは、和紙状にしたものも製造・販売しているので、とても手軽に作ることができます。磯の香りが豊かなので、生の魚介類を芯にした海鮮巻きも似合うことでしょう。焼き海苔のように粘らないので、子どもやお年寄りでも食べやすいと思います。様々なアレンジして、召し上がってください。

青のりは、「低カロリーで脂質が少ないヘルシーな食品」です。しかし、ビタミン、ミネラル類がとて豊富に含まれていることには、十分着目して欲しいと感じています。たとえば緑黄色野菜に多いビタミンAを例にとると、ピーマン1個分の含有量を青のりは、わずか小さじ1杯で満たすことができます。健康に寄与する、とても優秀な食品と言えます。

きぬ青のりの巻寿司

（材 料）2 本分

ごはん	1 合分
すし酢	大さじ 2
きぬ青のり （和紙風のもの）	1 袋（6 枚）
えび	6 尾
きゅうり	1/2 本
ツナ缶	大さじ 2
マヨネーズ	大さじ 1
卵	2 個
砂糖	小さじ 1
塩	ひとつまみ

（作り方）

- ①ごはんをすし酢（市販）を混ぜ、すし飯を作る。
- ②鍋に湯を沸かし、塩少々（材料外）を加えてえびをゆでる（冷まして皮をむく）。
- ③きゅうりは、縦 4 等分に切る。ツナ缶は汁気をきってマヨネーズで和える。
- ④卵は砂糖と塩で味付けし、油（材料外）をひいたフライパンで焼く。
- ⑤巻きすにラップを敷き、その上にきぬ青のり（和紙風シート）を広げる。手前 2/3 スペースにすし飯をうすく広げてのせ、きゅうり、えび、卵焼き、ツナマヨネーズを芯にして巻く。



和田 広美

管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター
愛媛大学地域再生マネージャー



お気楽 俳句

「俳句甲子園全国大会」、今年は八月十九日・二十日に松山で開催されます。言葉の力を信じて自分の思いを十七音に託す高校生。彼らの熱い夏、応援してください。以下、昨年の優秀句を紹介します。（小野更紗）

☆第25回「俳句甲子園」

個人最優秀賞

兼題「草いきれ」

草いきれ吸って私は鬼の裔すえ

岩手・水沢高等学校

阿部なつみ

個人優秀賞

兼題「日傘」

いつときは日傘を畳む墓の前

東京・開成高等学校

佐々木拓実

絵日傘の人のきれいな鼻濁音

東京・開成高等学校

鈴木丈太郎

兼題「蚊」

産毛より逞しき蚊の脚である

山口・徳山高等学校 A

山本涼香

兼題「草いきれ」

草いきれプロテクターに誰かの血

愛知・名古屋高等学校 B

服部亮汰

兼題「七月」

七月や兄にピアスの増えてをり

青森・弘前高等学校

村上綾

七月や雲なき空が鳥鍛へ

東京・開成高等学校

荒川理生

朝の駅セラチン質の七月です

愛媛・今治高等学校 伯方分校

阿部縁

兼題「良夜」

地下鉄が良夜へ顔をだすところ

東京・立教池袋高等学校

辻村幸多

塾を出て良夜の中の母に寄る

愛知・幸田高等学校

角田光

兼題「竜淵に潜む」

龍淵に潜む眼鏡に小さき螺子ねじ

東京・海城高等学校 A

くちびるに雲呑触れて龍淵にわんたん

北海道・旭川東高等学校

兼題「秋刀魚」

秋刀魚焼く地球があつて僕がいて

愛知・名古屋高等学校 B

兼題「十」

露草に十年先の来てをりぬ

東京・開成高等学校

谷田部慶

南幸佑

高井彩香

堀内晴斗



絵：律川エレキ
1966年宇和島市生まれ
奈良市在住
2000年頃より俳句新聞
や俳句マガジン等に挿
絵を描く。映像作家

*半夏生（仲夏）
七十二候の一つ。夏至から十一日目に当たる日、
太陽暦では、七月二日頃となる。

俳句甲子園
公式サイト「第25回俳句甲子園
全国大会」YouTube

おすすめの本

老人初心者の覚悟

阿川佐和子 著 中央公論社 刊（文庫） ¥814（税込）

著者はテレビや雑誌でおなじみの阿川佐和子さん。エッセイは数多くあるが、なかでも2012年に出版された「聞く力」（文春新書）は年間ベストセラー第1位、ミリオンセラーになった。

この作品は2019年にでたものが今年2月に文庫化されたもの。とにかく明るい文章で楽しくて、幅広いネタや自虐ネタもたっぴりに笑わせてくれる。

間違い電話に折り返し電話した話は最高♥

老人初心者の皆さん!! 共感できる話がいっぱいいて「あるある」とうれしくなること間違いなし。



■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊） <https://benibara.webhop.info/>

宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント：吉田 淳治



作品名：『くまとでんわとテニスボール』
(水彩)

作者：井川絵吏（大人クラス）

対象物は黙って動かない。
えりさんは何をひき出そうとするのか。
創意を持って写生にトライする。
写真では捉えることのできない、
手が生む重層から成るリアリティ。



作品名：『平和』（厚紙に水彩）

作者：玉留成（子どもクラス）

子供もちゃんと時代を見、感じている。
戦車は今おこっている戦争の象徴。
元々車と工作が大好きなじょうくん。
このジープも力強くよくできてるなあ。
カーレーサーであるおじいちゃんの影響？



作品名：『ウンコマンのだいぼうけん』
(水彩・クレパス)

作者：藤堂地洋（子どもクラス）

キャンプの日に現れた緑のウンコマン。
ちひろくんお気に入りのフォルム。
概念なんかにしばられない開かれた目。
ウンコマンといろんな世界に飛び立つ。
次はどこに？何色に染まって登場？

■アトリエぱれっと 書 sho salon <https://art-palette.wixsite.com/>

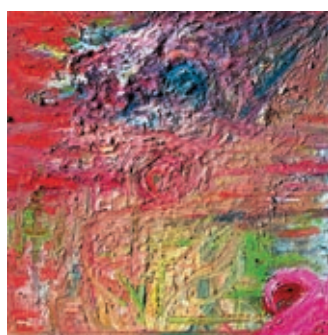
宇和島市伊吹町字イカリ石甲 1083-1 2F TEL.090-4332-1222 shosalon@yahoo.co.jp コメント：山下ちとせ



作品名：『薔薇』（油絵）

作者：城下梅子

いつも熱心に制作に取り組み、素敵な作品を描かれています。お庭で育てられたお花を教室に持ってきていただいて、教室をパッと癒しの空間にして頂いてます。この作品は薔薇だけではなく右からの光と時間を感じさせてくれます。



作品名：『夕日』（油絵）

作者：木田 恵

教室から帰られる時「楽しかったあ！ありがとうございます！」と明るく最高の笑顔で言っていたことが、私達の励みにもなっています。描くことを楽しんで制作されたとてもいい絵だと思います。



作品名：『薔薇』（水彩）

作者：片山里津子

淡い優しいタッチで表現される作品で、見た人をうっとりさせる作品です。薔薇の繊細さと、儚さを上手く表現できていると思います。どんどん上達されて素晴らしい作品を描き続けていただきたいと思います。

きさいやくん オサワヒロ



「作者の子どもの頃の体験です。たぶん、今の宇和島伊達家ご当主宗信さんのお父上 12 代当主の宗禮（むねのり）さんだと思います。優しいおじさんという印象でした」

作者プロフィール

本名 / 城内 章 1957 年 宇和島生まれ 愛知県在住
宇和島南高等学校卒 職業 / 建設業
趣味 / 漫画イラスト作成
著書に「のらとおばあちゃんの虹」

Tosyu Hyappen

斗酒百篇



雪の茅舎 純米吟醸 山田穂 生酒

希少米・山田穂を使った夏の限定酒

720ml 2,200 円 1800ml 4,400 円（価格は税込）

※写真は 1800ml

株式会社 齋彌酒造店 秋田県由利本荘市

「雪の茅舎」（ゆきのぼうしゃ）と云います。

雪のかやぶきの家という意味です。

風情があって美味しそうですね。人気のある秋田の地酒なのでご存じの方も多いかと思いますが、一度は飲んでみてください。おいしいお酒です。

造っているのは NHK プロフェッショナル「仕事の流儀」で伝説の杜氏として紹介された高橋藤一氏。その酒造りが凄い！

日本酒の伝統的な仕込み方法にとらわれず、自然の力でゆっくりと醸し、麴、酵素、酵母の働きを見極め、心地よく働けるよう調えます。決して無理に発酵を促すような手は入れません。繊細で香り高く、きれいなお酒が生み出される所以は、そこにあります。そして、出来上がったお酒はできるかぎり濾過などを行わず、そのまま出荷されるのです。

皆様に本当のお酒の味わいをそのまま味わって頂く為に…。

たかむら酒の店

宇和島市神田川原 90 ☎ 0895-22-0624



<http://taka-sake.o.oo7.jp/>



※斗酒百篇（としゅひゃっぺん）とは たくさんのお酒を飲みながら、たくさんのお酒を作ること。 古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白のことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字／矢間大蔵

祝 鶴島ジュニア 3季連続全国大会出場！



（磯崎監督のコメント）
「6年生が中心のチームで、頼りになる下級生の応援と共に今まで何度も接戦を勝ち進んできました。とにかく、チーム一丸となり、盛り上がりつつ元気いっぱい一戦必勝で頑張りたいと思います」



第37回全日本小学生男子ソフトボール大会愛媛県予選が4月22日～5月3日の間、松山中央公園運動広場で開催され、宇和島の鶴島ジュニアチームが7月末に福島県で開催される全国大会出場を決めた。同チームは、これで3季連続の全国大会出場となる。

3月に静岡県で開催された全国大会では、全国大会常連の強豪チームを倒し、準決勝（ベスト4）まで駒を進めたが、雨天順延が2日間続き、試合日程が足りず、4チーム同時優勝となった。形として全国優勝とはなったものの、悔しさが残った大会だった。

今回、再度全国大会で戦えるチャンスを手にしたので、今度はぜひ、決勝まで進み全国大会2連覇を達成してもらいたい。

宇和島信用金庫 本部ビル新築について

建設地	宇和島市本町追手2丁目4番10号 現本店東向 伊予銀行（旧）追手支店跡地（令和3年3月取得）
敷地面積	578.85 m ²
階数	地上4階 地下1階
高さ	約19m
構造	鉄筋コンクリート造
建物用途	本部
特徴	自家発電設備



宇和島信用金庫（理事長清家義幸）は、現在の本店ビルが築60年を経過し老朽化が進み、南海トラフ地震対策も喫緊の課題となっていることから、昨年の創立100周年記念事業の一環として本部ビルの新築移転を決定し、新築工事に着手しましたのでお知らせします。

なお、竣工後新ビルへの移転は本部組織のみで、現本店ビル（宇和島市本町追手2丁目8番21号）1階の本店営業部につきましては、現在地で営業を継続いたします。

◇スケジュール

2023年5月1日

新本部ビル着工

2024年4月20日

新本部ビル竣工

◇施工業者

株式会社二宮工務店

（宇和島市）

◇設計

株式会社鳳建築設計事務所

（松山市）



あなたの作品がカレンダーになる！

宇和島信用金庫 芸育プロジェクト実行委員会
カレンダー作品公募展

応募作品展
2023年7月25日(火)～30日(日)
10:00～17:00 (最終日は15:00まで)
会場：ギャラリーばれっと
展覧会期中に賞の投票を行います。
展示をご高覧いただきご投票ください。
投票期日：2023年7月26日(水)～30日(日)

作品搬入
2023年7月22日(土) 13:00～16:00
郵送による搬入は7月21日(金)必着です

「つなぐ」は、こちらどうぞ。

●宇和島市（本庁、津島支所、吉田支所、三間支所、中央図書館、吉田図書館、中央図書館津島分館、生涯学習センター、パフィオうわじま、市立宇和島病院、伊達博物館、畦地梅太郎記念美術館、歴史資料館） ●きさいや広場 ●道の駅みま ●シロシタ ●宇和島商工会議所 ●南楽園 ●かどや（駅前本店・弁天町店・味奈味） ●ハイウェイレストラン宇和島 ●和日輔 ●福DON ●盛運汽船 ●岩崎書店 ●木屋旅館 ●はまゆう薬局 ●ひまわり薬局 ●JR宇和島駅 ●JR松山駅 ●小野商店（津島） ●安藤コーヒー ●べにばら画廊 ●アトリエばれっと ●香川・愛媛 せとうち旬彩館（東京） ●宇和島信用金庫各支店 他
「つなぐ」の発行は、新春号（1月）、春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）です。 ※「宇和島クラブ」協賛業者



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —